

消費者モニター活用による商品開発研究会（第3報）

本庄 恵美* 中野 睦子* 石川 章弘** 篠塚 雅子*

1. はじめに

商品企画、商品開発において、生産者の主観に頼ったり、消費者との嗜好のずれにより市場ニーズに合わない商品となっていることが少なくない。

そこで、当研究会は、消費者モニターからの意見や要望などの協力を得て、既存製品のリニューアルや新規商品開発に反映する「マーケットイン型商品開発」を行っている。

2. 目的

消費者モニターを募集し、商品の嗜好や使用感などの意見や評価を得る。会員同士学びながらモニター調査の結果集計等を実施することで、自社製品に客観性や新規発想を取り入れ、改良や開発に繋げることを目的とする。

3. 研究会内容

消費者モニターから得た商品の嗜好や使用感などの意見から、客観性や新規発想を取り入れ、改良や開発につなげるため、次のステップで段階的に進める。

第1ステップ

- ・参加企業募集

第2ステップ

- ・消費者モニターの募集及びセグメント化
- ・本研究会の主旨を公知し、モニターを募集

第3ステップ¹⁾

- ・既存品やテスト品のモニター調査
- ・消費者モニターに製品、試作、サンプルを提示し、意見、感想などを求める。

方法は企業や製品によりケースバイケースとし、グループインタビューやサンプル発送などにより、下記情報を収集する。

- * サンプル使用感
- * イメージ図を見せての自由意見
- * 複数サンプルから好みを選択
- * 素材を見せて自由意見

第4ステップ

- ・試作、開発、商品化

本年度は第3～第4ステップとして、モニター調査の結果を集計し、調査結果を踏まえた改良点について研究会で討議した。製品の改良、テスト販売、販路の検討など個別企業ごとに方向性を確認した。

第4回研究会(H27.6.9)を下記のとおり開催した(図1)。

- ・モニター調査集計結果報告
- ・調査結果を踏まえた改良点についての討議
- ・情報提供「プレリリースの流れについて」



図1 全体会合（第4回研究会）の様子

3.1 実施体制

研究会の役割分担として、参加企業はモニター募集・管理、モニターの意見を活用した商品開発を実施する。当センターでは研究会の運営、消費者モニターとりまとめ・商品開発支援を担当する。

3.2 モニター調査結果と方向性

モニター調査結果と方向性については次の通りである。

- (1) 製品名：踏み台昇降運動器具



図2 踏み台昇降運動器具

- 調査項目：ツボ刺激用突起物の数、高さ
踏み台の高さ
商品価格

■モニター調査から得られた自由意見

- ・昇降機能やツボ刺激など、機能が重複している。ターゲットとする年代によっても求めるニーズが異なると思うので機能を絞ってはどうか（ツボ刺激と昇降を分けて考える）
- ・足踏み機能をもつ運動器具はスポーツ店にいけば類似品がある。頑丈で壊れないのであれば、個人ユースを狙うのではなく、不特定多数の人に使ってもらおう場所に置いてもらう販路を考えてみては
- ・木材を使用しているので、実用品というよりはインテリア

■方向性（製品改良）

踏み台の高さやツボの数・大きさを再検討し、製品改良した。



図3 製品改良案

(2) 製品名：結城紬を使用したクッション



図4 結城紬を使用したクッション

■調査項目：中綿の硬さ

- クッション形状
- サイズ感
- 商品価格

■モニター調査から得られた自由意見

- ・購入したい価格としては4000円位であれば妥当との意見があるので、中間マージンが抑えられる場所であれば取り扱ってもらえる
- ・クッション材とカバーを商品として別々に販売することもよいのでは、インテリアとして置いておきたい人は中綿の硬さは気にしない
- ・赤ちゃん枕としての見せ方もよい、贈答用であれば6800円という価格も問題ではないと思う

■方向性（販路の検討）

調査結果から、商品価格を除いては現行商品で問題ないという意見が多く得られたため、設定価格に見合った販路を検討することとした。

(3) 製品名：シートベルト用保温クッション



図5 シートベルト用保温クッション

■調査項目：クッションの肌触り

- クッションの柔らかさ
- クッションの丈
- 使いやすさ
- 商品価格

■モニター調査から得られた自由意見

- ・生地を柔らかくして、折りたたまれやすくする
- ・夏冬共用ではなく、使用時期をどちらかに絞ったらどうか
- ・薄手のニット（ジャージ）1枚でもよいのでは、中綿はいらないかも
- ・需要はあると思うので、デザインをカッコよく
- ・柄の生地ではなく、ベースは無地で、その後ラインナップを充実させるとか
- ・丈については意見が様々なので、折り返すなどして長さを調節できるもの
- ・マタニティ向けはいいかも

■方向性（製品改良）

使い勝手についてはシートベルト脱着時の不快感を指摘する意見が多かったため、シートベルトとクッション部の取付方法について改良を行うこととした。また、夏の車内冷房対策用として使用時期を限定して、素材や中綿材を検討することとした。

(4) 製品名：ボディウォッシングミトン



図6 ボディウォッシングミトン

■調査項目：サイズ感

■方向性（テスト販売）

サイズ感について調査を行い、製品寸法の検討に生かすことが出来たため、自社のホームページを通してテスト販売に移行する。

3.3 想定される効果

研究会を通して、消費者目線を交えた商品開発を行うことが可能となり、その結果、新製品開発やリデザインを行う際、売れる確度の高い製品開発に繋げることができる。

また、企業単独ではなく、研究会として取り組むことにより、消費者目線のみならず異業種の意見や交流も得ることができるなど利点があげられる。

4. まとめ

本年度は4製品について、モニター調査の結果を反映した方向性（製品改良など）についてまとめた。研究会としての取り組みは本年度で終了するが、引き続き会員企業ごとの支援を実施していく予定である。

5. 参考文献

- 1) 本庄恵美, 中野睦子, 石川章弘, 篠塚雅子
茨城県工業技術センター研究報告 vol143, 69(2014)